



に い が た  
**県電だより**

〈 新 春 号 〉



「朝日に輝く妙高連山」

撮影場所・撮影日／上越市板倉区 平成28年12月

【コメント】

妙高、火打、焼山と連なる妙高連山にも麓まで雪の便りが届き、一歩ずつ冬に向かっていきます。山の頂にあたる朝日の輝きと、朝焼けする空のコントラストに心を打たれました。北陸新幹線も開業して一年半あまりが過ぎ、首都圏、金沢方面とも大変便利になりました。2017年上越妙高駅周辺もようやく開発が進みます。今年が皆様にとりまして飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。

撮影者／新潟県電気工事工業組合 上越支部

大和電建株式会社 本山 秀樹 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



# 目次

1. 年頭のご挨拶 .....	1
2. 地域懇談会を開催 .....	10
3. 平成28年度「相続・事業承継研究セミナー」を開催 .....	11
4. 第2回電気工事技能競技全国大会 .....	12
5. 各種表彰 .....	15
6. 平成29年度 消防関係試験実施計画 .....	16
7. 各支部だより .....	17
8. 各青年部だより .....	19
9. 組合員の異動・変更 .....	24
10. 組合の保険って?! .....	25
11. 第一種電気工事士定期講習の開催について .....	26

## 【表紙写真募集】

- 県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- 写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

年頭のご挨拶



## 2017年 年頭のご挨拶

理事長  
小林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみれば、一昨年に引続いて、相次ぐ自然災害に見舞われた年でした。地震も各地で発生し、4月には熊本県、10月には鳥取県、そして11月には福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県沖地震では広範囲で東日本大震災以来となる津波に襲われました。また、8月に相次いで発生した台風は、日頃台風直撃されることが少ない北海道や東北地方に上陸し、これらの台風の影響で、東日本から北日本を中心に大雨や暴風となり、特に北海道と岩手県では甚大な被害となりました。

一方、政治の世界に目を向ければ、10月に柏崎刈羽原発の再稼働問題を大きな争点とした新潟県知事選挙が行われ、再稼働に慎重な姿勢を示してきた前知事の路線を継承するとし、野党の推薦を受けた米山知事が誕生しました。県民の原発問題への不安感が示された、結果となりました。

そんななかで、8月に開催されたリオオリンピックでは、前回を上回るメダルラッシュで、金メダル12個を含めて41個のメダルを獲得し、国民に数々の感動を与えるとともに、4年後の東京オリンピックに向けて、弾みがつく結果となりました。

昨年11月、第2回電気工事技能競技全国大会が開催され、今回から設けられた高校生の部に、

県立新潟工業高校の川本航基選手が出場いたしました。事前の練習では青年部を始め関係者の皆様からご指導いただき、大会当日は5名の出場者のなかで一番早く作業を完了することができました。競技結果では残念ながら最優秀賞を獲得することはできませんでしたが、本人にとって貴重な経験となったばかりではなく、当工組にとっても今回の大会を通して若手技術者育成の重要性をあらためて認識させられることとなり、意義深い大会となりました。

さて、昨年6月の通常総代会におきまして、業界・組合を取り巻く環境が大きく変化するなかで、「組合員にとって、今、何が最も必要か、真のニーズは何かを十分に検討し、みんなが幸せになれる業界を目指す」ための事業計画をご承認いただき、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、将来の業界を担っていく若手入職者を確保するために、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を県内5校の工業系高校で、県青年部と共催で実施いたしました。また、組合員の新規加入を促進するための新規加入時の負担軽減や、組合運営に関するさまざまな課題等について検討を行いました。

経営企画推進委員会では、組合員のスキルアップ並びに知識の習得に役立てていただくため、人材育成に関するセミナーとして「電気工事士 現場力レベルアップセミナー」、「事業継承・相続税研究セミナー」を継続開催いたしました。また、組合で取り扱っている保険を理解

していただき加入を促進するため、全組合員へ取り扱っている保険を一覧表にしたパンフレットを配布いたしました。

技術委員会では、36年目を迎える「電気使用安全月間」について、重点支部を始め各支部の協力をいただき、関係団体への安全キャラバン並びに感震装置・避雷器取付推進等を積極的に実施いたしました。また、昨年から支部の事業として開催していただいた「低圧電気工事取扱特別教育」並びに「防火区画貫通措置工事講習会」の支援を行いました。

引込線事業委員会では、配電付託契約によるスマートメーター取替工事、並びに、これに加えて、本県での試行実施が認められた劣化引込線張替工事を施工いたしました。委員会ではこれまで、インストラクターによる訓練指導や安全大会を開催して、ゼロ災害に取り組んでまいりましたが、残念ながら劣化引込線張替工事においてアーク災害が発生し、各支部引込線会社と再発防止対策について協議を重ねました。

昨年、各支部で組合員の新規加入に積極的に取り組んでいただき、13名の方々に加入していただきました。しかしながら、同数程度の組合員が脱退若しくは脱退予定となっていることから、組合員の増加には至っておりません。脱退の事由としては「高齢になったため」、「後継者不在」が一番多くなっており、業界への入職者がおらず人手不足という課題とともに、誰が事業を引き継ぐのかという事業継承が大きな課題となっております。事業を行っていくうえで、近年では人に関する課題が大きいのしかかってくるようになってきております。「組合は組合員のために」という使命を果たし、組合員が今後とも安定的に事業を営んでいくことができるように、本年は次の事業に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、業界における組合の地位・

発言力を維持・拡大していくため、組合員の新規加入促進に継続的に取り組み、その一環として、若手入職者確保のため、3年目となる「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を実施してまいります。また、組合運営に関するさまざまな課題等について引続き検討を行うとともに、関連する規程・規約の整備を行ってまいります。

経営企画推進委員会では、新人社員の離職が多く困っているとの組合員の声を受けて、人材育成に関する新たなセミナーとして、新人社員の離職率改善のためのセミナー開催について検討を行ってまいります。また、組合員の万一の場合に備え、日々安心して仕事に専念していただけるよう、引続き福利厚生制度の充実を図ってまいります。

技術委員会では、昨今の人材不足により知識・技能の円滑な継承が危惧され、現場管理者の育成が組合員の事業の継続的發展のために重要課題の一つとなっていることから、「これからの現場管理者のための必携セミナー」を開催いたします。また、支部の事業として開催していただく「低圧電気工事取扱特別教育」について、引続き支援を行ってまいります。

引込線事業委員会では、昨年発生したアーク災害を受けて、支部引込線会社と連携を図りながら、教育計画書の作成、実技訓練、並びに安全衛生管理者の選任等を行って安全管理体制を構築し、安全第一の初心に立ち返り、ゼロ災害実現のため取り組んでまいります。また、安全大会を継続開催して、安全・安心の確立に努めてまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 2017年 年頭のご挨拶

新潟県知事

米 山 隆 一

2017年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年10月、県民の皆様のご御信託を得て、新潟県知事に就任いたしました。知事就任後、初めての新年を迎え、「命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」県政を実現していく決意を新たにしております。

私は、政治の目的は、一人一人の幸福を可能な限り増やし、一人一人の不幸を可能な限り減らしていくことであると考えております。今までの政治の中で、ややもすると取り残されてきた一人一人の想いを丁寧に受け止めて、幸福の源である命と暮らしが守られると同時に、新潟県の、現在とそして未来への責任を果たす県政を実現したいと思っております。私達は、先人たちから受け継いだこの美しい県土と、人と人との暖かい絆を保ち、未来に引き継いでいく責任があります。私は、新潟県知事として、現在の新潟県の諸課題に真摯に対応しつつ、将来の発展に向けた方向性を示し、県内の多くの力を結集して新潟県の新たな未来を切り開き、次世代の子供たちに引き継いでいきたいと思っております。

さて、現在、本県を含め多くの地方に共通の大きな課題が、地方の再生と、人口減少問題への対応です。本県の人口は今まさに減少を続けており、長年続いてきた進学や就職を契機とした社会流出が、出生数の減少にもつながるといった連鎖の構造が生じつつあります。私は、この連鎖を止め、人口減に歯止めをかけて増勢に転ずるために、新潟県として出生数の増加や人口の流入促進・流出抑制に有効な施策をできる限り講じると同時に、国にも必要な施策の実行を強く働きかけてまいります。そして、新潟県が、

暮らしやすく、子育てしやすく、学びやすく、働きやすい、総合的に魅力ある地にするため、福祉・医療、教育、産業・雇用など県政のあらゆる分野での取組を総動員して新潟県の暮らし易さの総合的魅力を高めたいと思っております。

また、本県では地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進することで県内産業振興を図るため、新潟版グリーンニューディール政策を推進しておりますが、電力系統への接続に関する新たな出力制御のルールの導入により、電力の安定化を図りながら地域固有のエネルギーを積極的に活用していくことが重要になってきております。その実現に向けた再生可能エネルギー発電設備や蓄電設備、省エネ設備に対する社会的要請が高まる中で、皆様の役割がますます大きくなってきております。

こうした状況の下、貴組合におかれましては、太陽光発電設備に関する事業者が連携して普及促進を図る「新潟県太陽光発電導入促進協議会」の事務局等として、ご尽力いただいておりますことに、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。





年頭のご挨拶

**2017 年 年頭のご挨拶**

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

**武 田 眞 二**

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年4月より、電力システム改革第2弾として、低圧供給のお客さまも含めた電力小売全面自由化がスタートし、電気事業にとって歴史的な転換点となりました。新潟におきましても新たな小売電気事業者の参入により、次第に競争環境が激化しつつあります。

当社におきましては、全面自由化を迎えるにあたり、引き続きお客さまから当社を選択していただけるよう、コーポレートスローガン「より、そう、ちから。」を掲げ、新たな料金プランや、よりそうeネットなどの新サービスを導入するとともに、社員一人ひとりが新たな事業環境に挑戦する意識・姿勢を持ち、お客さま第一の視点を徹底し、真心をこめた丁寧な仕事に努めてまいりました。

当社は、創立以来65年にわたり地元新潟の地に電気を送り続け、多くの未曾有の災害を地域とともに乗り越え、「安定供給への使命感」と「地域との信頼関係」を培ってきました。電気事業を取り巻く環境が大きく変わる中におきま

しても、競合他社には真似することのできない強みであり、今後も地域に寄り添い、安定供給という公益的使命を全うして地域との信頼関係をより強固にしていきたいと考えております。

電力システム改革は、2020年に第3弾となる送配電部門の法的分離（分社化）が予定されておりますが、「地域の繁栄なくして当社の発展なし」との基本的な考えのもと、コーポレートスローガン「より、そう、ちから。」を実現し、変化をチャンスにさらなる成長を目指してまいります。

昨年は貴組合からのご理解をいただき、新增設工事に伴う引込線工事に加え、全店では新たにスイッチングに伴う計器取替工事でご協力をいただきました。さらに新潟では引込線張替工事の施工対象の拡大に向けた試行実施を行いました。

遺憾ながら試行実施において短絡災害が発生したことから、無災害に向けた再発防止対策をご検討いただきました。

今年は試行実施の検証を行った上で全店展開いたしますので、更なる安全指導に意を用いていただきますようお願いいたします。

結びになりますが、貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまにとりまして本年が幸多き年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

## 組合員のためになる組合を目指して

総務委員長

有 坂 友 栄

新年あけましておめでとうございます。

日頃は総務委員会の運営にご協力を頂き、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も当委員会では組合組織運営に関する課題を重点目標として、委員会を開催し検討を進めてまいりました。

特に昨今は組合員の高齢化等により、脱退者が多く組合員の減少に歯止めが掛からないことに議論が集中しておりました。

組合運営の健全化のためにも「組合員を増加させなければならない」との認識で、各支部の現状を把握しながら、加入時の負担を軽減するために、出資金や加入金を減少するようお願いしてまいりました。

おかげさまで、ほとんどの支部で理解を示していただき、多くの支部で負担を軽減することが出来ました。

その結果、新規加入者及び譲渡加入者の合計は一昨年度には6社、昨年度には3社でありましたが、今年度には13社と多くの皆様から加入をしていただくことが出来、去る12月20日に加入者の皆様からお集まりいただき、組合の概要や事業計画についてご説明いたしました。

新年度にも更に多くの方々が加入されること

を希望しております。

また、もう一つの大きな問題点は、若手後継者・若手従業員の不足であります。

これにつきましても、毎年、地元支部青年部を中心に県内の電気系高等学校に出向き、学生に電気工事業を理解してもらうため、具体的な仕事内容の紹介や業界のPR等を行っております。

特に今回は、電気工事の内容を紹介するために映像を製作し、学生さんに見ていただきました。

映像を見た感想では、「配線だけでなく色々な作業があることで驚いた」、「様々な内容で電気工事に興味を持った」などと、概ね好評でありました。

この事業も3年目を迎え、徐々に効果が見えてきており、地元電気業界への就職者が増加傾向にあるとの報告をお聞きし、大変喜んでいるところであります。

このように、当委員会では「組合員のためになる組合を目指して」事業を進めてまいりますので、本年も変わらぬご指導、ご協力を申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

## 年頭のご挨拶



経営企画推進委員長

山本 進

2017年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃は当委員会の運営にあたり、皆様方のご協力とご理解を賜り、心より御礼を申し上げます。

昨年末の米国でのトランプ激震で日本経済もどうなるか見通せない状況ではありますが、色々な情報を収集しつつ、活動していきたいと思っております。

我国の経済は「物価安」「消費の低迷」により依然として厳しい状況から抜け出せないでいますが、その原因の一つとして政府の成長戦略の要である「規制緩和」が進んでおらず産業構造が硬直化している点にあるものと思われま

す。一つの打開策として、中小の地場産業が産業構造を変えていくという点に可能性が有るのではないのでしょうか。

さて、当委員会の活動につきましては例年通りの4本柱で行っておりますが、2月28日の「製・販・工・懇談会」を残すのみとなりました。

「人材育成に関するセミナーの開催」

「現場力レベルアップセミナー」「相続・事業承継研究セミナー」を行い、好評を博しております。

新入社員の離職が多いとの話で、退職状況の調査を行い、セミナーを行うかどうか討議しま

した。

今年の秋頃に「レベルアップセミナー」受講者等や新入社員向けのセミナーをやりたいと思っています。

「新時代の変化に応じた新商品、新技術の研究」雪国ならではの壁面型の太陽光パネルによる発電が2020年、2030年の規制も有りゼロエネルギーハウスに関する事、新技術に関する事いろいろ研究していかななくてはならない事はたくさんあります。

「製・販・工・懇談会」

今年もエコ研究部会の最大行事でメインテーマに「異業種販売・ネット販売にどう対処するか」サブテーマに「語り合おう!! 製販工の原点」と題してLED照明の保証問題、太陽光パネルの保証問題、流通経路について等、パネルディスカッション方式で行いたいと思っております。

「福利厚生制度の充実」

全日電工連のスケールメリットを活かして、保険カルテの利用、第三者損害補償制度、業務災害制度、組立保険制度等の補償制度充実を目指しております。

「役に立つ」、「実績の残せる」事業を基本として、委員会活動を行っておりますが、楽しく、協力できる委員会を目指したいと思います。



年頭のご挨拶



## 新たな技術に対応できる担い手の育成

技術委員長

齊 藤 淳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。組合員の皆様方におかれましては清々しい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

技術委員会も皆様のご理解とご協力により、円滑に事業運営をさせていただいているところであります。昨年1月に「職長・安全衛生責任者教育」を開催いたしましたところ、大勢の受講希望があり、2日間に分けて受講していただきました。また、新規事業として『低圧電気工事取扱特別教育』の本部での開催を考えましたが、対象者全てが受講するには数年の期間がかかると想定されるため、さきに『講師養成講習』を本部で開催して支部技術委員長等に受講していただき、後に、受講者が講師となり、6月より支部事業として特別教育を開催していただいたところであります。本年も各支部の講師の方々に大変ご苦労お掛けいたしますが、引き続きよろしく願いいたします。

昨年11月25日、東京両国国技館で開催された第2回電気工事技能競技全国大会を委員会で視察いたしました。今大会から一般の部、女性の部、高校生の部と別れて競技が行なわれ、新潟県から新潟県立新潟工業高校より川本航基君が選出され、我が県工組（技術委員会・青年部）も全面バックアップ体制を取り、実技指導を行

いました。県工組の実技指導としては11日間の短い練習期間ではありましたが、めきめきとスキルアップし、高校生とは思われない技術を身に付け、本番に挑む姿は私たちに感動を与えてくれました。残念ながら僅差で金賞を射止めることができませんでしたが、彼の人生の財産になることと思います。

我々業界も、後継者の育成には多様な現場経験が必要であり、何より指導者が不可欠であることから、熟練技術者の高齢化と減少は後継者の育成にとって大きな支障となっています。新たな技術に対応できる担い手育成が、喫緊の課題ではないでしょうか。そこで、本年3月10日に『これからの現場管理者のための必携セミナー』を計画いたしました。セミナーをとおして電気工事という職種・仕事の内容を理解し、知識を高め、現場管理に役立てていただきますようご理解とご協力をよろしく願いいたします。本年も皆様にご指導ご鞭撻を賜り、技術委員会一同連携を取りながら組合員の皆様のお役に立てる情報提供を考えていきたいと思っております。

結びに皆様のご繁栄とご健勝を祈念し、明るく実り多き一年となりますよう願ってご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 引込線事業の新たな再出発をめざして

引込線事業委員長

萩 莊 賢 一

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、電力業界においては、電気事業法の改正に伴い、昨年4月からは「電力小売全面自由化」がスタートし、東北電力様より、組合に対し新たな契約形態となる配電付託という形で、スイッチングにともなう計器取替工事を、我々工事組合で施工させて頂くことになり、各地域の引込線会社で対応させて頂いているところであります。

委員会としては、引込線会社協議会の意向を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねてきた成果が、身を結んできたところであります。

スイッチングに加え、昨年春より新潟県のみ先行した形で、引込線劣化張替工事の試行を6営業所管内でおこなわせて頂いております。

この新しい仕事をうまく立ち上げていくため、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践してまいりました。しかし、残念ながら昨年10月11日に短絡災害を発生させてしまい、関係者の方々には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、この場をお借りして心よりお詫び申し上げます。

長年引込線委託工事をやらせて頂き、無事故無災害で施工させて頂きましたが、あってはならない災害を発生させてしまったことに対し、これを真摯に受け止め、二度と災害を起こさないということを誓いその想いを共有し、再発防止に取り組んでいく所存でございます。

失った信頼を必ず回復し、より強固なものとするため、関係者一丸となって、決められたこと或いは新たに決めたことを粛々とこなし、組合組織は安全に対する取り組み方が変わったと思っ頂けるよう努めて参ります。今まで同様、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年も2月に「第5回安全大会」を開催いたします。組合一丸となって、二度と災害をおこさない決意と共に災害ゼロにむけ決意表明させて頂きます。

結びに、非常に変化の激しい社会環境の中ではございますが、様々な変化に対して、スピーディーで適切なアクションを取るために、皆様方の英知をお借りしながらこの厳しい時代を乗り越って参りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。



年頭のご挨拶

## 平成29年を迎え新年のご挨拶

県青年部会長

星野泰助

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は新潟県電気工事工業組合青年部活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

早いもので会長職を仰せつかってから4分の3が終わりました。就任後は我々青年部の為に何が出来るのかを考えながら青年部らしい柔軟な発想と行動力で青年部役員、会員の皆様の多大なるご協力を頂きながら進んで参りました。

6月には恒例となりました支部間交流親善スポーツ大会（in 魚沼）を開催し、ご当地の魚沼支部青年部の皆様からご尽力頂き、県内100名以上の青年部員参加の下、会員相互の交流を深めて参りました。本事業は今年の小千谷・十日町合同開催で13支部すべてで開催したことになり、次回からは更なる進化をし、他県青年部には真似のできないこの事業の継続を望みます。7月に宮城で行われた第2回東北ブロック青年部会員大会には新潟県青年部から多数のご参加を頂き、東北の電気工事を生業とする仲間達と交流を深めました。11月に長岡で行われた移動理事会及び経営セミナーでは我々青年部と同年代、同業種の講師をお招きし、身近な感覚で勉強させて頂きました。また同月に第2回技能競技全国大会・高校生の部で新潟工業高校の川本航基君の奮闘を応援し、翌日の東京TFTホールで行われた参加者550名での第2回全国青年部会員大会の全国青年部活動発表では新潟県青年部として「新潟電工ガールキャンペーン」が見事に最優秀賞を受賞しました。

この活動に携わって頂いた数多くの青年部、関係者、新潟電工ガールの皆様には深く感謝する次第でございます。同会内での「作業着ファッションショー」は多数のメディアからの注目を集め、新潟県代表の柏崎、金子さんのご活躍もあり、新潟県青年部の名は全国区となりました。前述の最優秀賞の結果から見える様に新潟県青年部の実行力、団結力、組織力は全国でも有数であると考えますので新潟県青年部から東北、全国へこのパワーを発信していこうと考えます。「新潟電工ガールキャンペーン」と同じく、県内5カ所の学校で実施又は実施予定の高校生との交流事業は電気工事業界の慢性的な人手不足、後継者不足を解消し、我々業界の将来の担い手を創造しうる重要な事業でありますので新潟県電気工事工業組合の青年部はじめ、親会の皆様には多大なるご支援とご協力を願うものであります。

大きな動きをみればイギリスのEU離脱、アメリカ大統領選挙、保守王国新潟での選挙結果、産業界のIoT、ビッグデータ、人工知能、我々の常識が常識でない時代がやってくるのではないかと感じます。電気工事業界の将来を生きる青年部は青年部同志の既存のネットワークを更に強化し、柔軟な発想と迅速な行動力の「THE 青年部」として今年も元気に活動して行く所存でございます。

この新しい年が皆様にとってより佳き年になるよう、心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒、宜しく願い申し上げます。

## 地域懇談会を開催

平成28年度の地域懇談会が、村上支部並びに佐渡支部において開催されました。

地域懇談会は支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、総務委員会事業として毎年度二支部を廻って開催されるものです。

懇談会では、有坂総務委員長の司会、吉田副理事長の進行ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各事業委員長より担当委員会、青年部会長より青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

### 「村上支部」



小田支部長の挨拶

10月26日、村上市の大観荘せなみの湯で村上支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他16名、村上支部より役員・組合員他18名、合計34名が

出席しました。

懇談会では、新規加入時に求められる保証人の必要性、支部で開催する低圧電気取扱特別教育の修了証の再発行・非組合員の受講、劣化引込線張替工事のシステム化の予定、支部の第三者損害賠償制度への加入、並びに劣化引込線張替工事における事故などについて、活発な意見交換が行われました。



村上支部組合員との意見交換

### 「佐渡支部」



石川支部長の挨拶

9月9日、佐渡市の佐渡グリーンホテルで佐渡支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他12名、佐渡支部より役員・組合員他15名、合計27名が出席しました。

懇談会では、INIP認定者に対して移行プログラムが実施される情報配線施工技能士の経営審査事項への反映、佐渡での研修会・講習会の開催要望、支部加入時負担金軽減を検討しているなかでの本部賦課金減額の検討要望、劣化引込線張替工事の支部への発注状況、並びに公共工事設計労務単価の改善要望などについて、活発な意見交換が行われました。



佐渡支部組合員との意見交換



## 平成28年度 相続・事業承継研究セミナーを開催

経営企画推進委員会（山本進委員長）では、新潟県中小企業団体中央会の「講習会事業」を活用し、10月4日（火）に新潟テルサ、10月19日（水）に長岡新産管理センターにおいて、平成28年度「相続・事業承継研究セミナー」を開催いたしました。

本セミナーは、相続並びに事業承継をお考えの方を対象としたセミナーで、両日あわせて組合員各社より22名の方から受講をいただきました。

講師には、あすか中央税理士法人（株）江口経営センターの税理士・行政書士の並木純子様を



お迎えし、相続の基礎知識、又相続並びに事業承継の具体的事例を紹介しながら、分かりやすくご説明をいただきました。

受講後、受講者にご回答いただいたアンケートでは、「お話がわかりやすくてよかったです。」「大変勉強になりました。」「ちゃんと対策しなくてはと思いました。」等の受講者から大変ご講評の感想を頂きました。

経営企画推進委員会では今後とも人材育成に関するセミナーを多数開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



### 企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の  
よりよい福祉の向上を目指す。

### 東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁157番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843



## 第2回電気工事技能競技全国大会 『競え！翔け！技モノがたり！目指すは熱き孤高の和！』

11月25日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催による第2回電気工事技能競技全国大会（以下、競技大会）が、東京・両国国技館で開催され、今大会は、女性電気工事士の活躍の場を広げ男女共同参画社会の実現に寄与するとともに、電気工事業界の将来の担い手育成、入職促進および教育活動の振興の一助として、一般の部30名に加え、女性の部・高校生の部（各5名）も実施されました。新潟県からは、川本航基選手（新潟県立新潟工業高等学校）が出場し、会場の両国国技館には、開門と同時に全国の組合員、青年部、来賓など約2,000名が応援・見学に駆けつけました。

第2回目となる競技大会の開会式では、入場する選手をアテンド（選手補助員）やチアガールがハイタッチで出迎えた後、第1回競技大会の優勝者・泉谷祐真氏（島根電工㈱）からのチャンピオンフラッグ返還に続き、藤沢一三副会長の力強い開会宣言、米沢寛会長の主催者挨拶、各部門の代表者3名による力強い選手宣誓が行われました。



選手入場

新名淳一競技部会長の競技開始を告げるホイッスルが響き渡った会場では、各選手のKY（危険予知）で競技がスタートし、選手は日頃鍛えた技術を競いました。



各部門の代表者3名による選手宣誓

競技は技能競技（実技）と前日に実施された学科競技（非公開＝60分）の総合点で競われ、技能競技は選手1名が課題に基づき競技パネルに作品を制限時間内（一般・180分、女性・150



会場前にて記念撮影（新潟県工組参加者）

分、高校生・120分)に完成させるというもので、2,000名の見学者が見守るなか、全国から選ばれた出場選手40名は日頃鍛えてきた技術力を十分に発揮しました。そして、競技終了が告げられると、会場全体から選手全員を称える大きな拍手が鳴り響きました。

高校生の部では、高校生ものづくりコンテストや若年者ものづくり競技大会の優秀者等、全国工業高等学校長協会から推薦された中から5名が選出され、白熱したハイレベルな競技となりました。競技終了のホイッスルが響き渡った時には、その場に倒れ伏した選手、制限時間内に作業を終了させ安堵の表情を浮かべる選手等、プロさながらの作業が繰り返されました。



多数の見学者が来場した競技会場

17時より表彰式が執り行われ、沼尻芳治技能競技委員長の講評に続き、中野弘伸審査委員長(職業能力開発総合大学校名誉教授・工学博士)が審査結果を発表しました。前日に行われた学科競技も含めた審査の結果、一般の部では金賞・経済産業大臣賞には小柳剛之選手(㈱電興社・佐賀県)が選ばれ、『JAPAN e SKILL CHAMPION』の称号が贈られました。また、女



川本航基選手  
(県立新潟工業高等学校・新潟県)

性の部最優秀賞・国土交通大臣賞には前田宏枝選手(前田電気㈱・福井県)が選ばれ、『JAPAN e SKILL LADY'S CHAMPION』の称号が贈られ、高校生の部最優秀賞・文部科学大臣賞には齋藤平也選手(県立千葉工業高等学校・千葉県)が選ばれ、『JAPAN e SKILL JUNIOR CHAMPION』の称号が贈られました。その他、一般の部では銀賞2名、銅賞3名、敢闘賞2名、安全作業大賞を1名がそれぞれ受賞しました。



新技術・新商材の提案セミナー

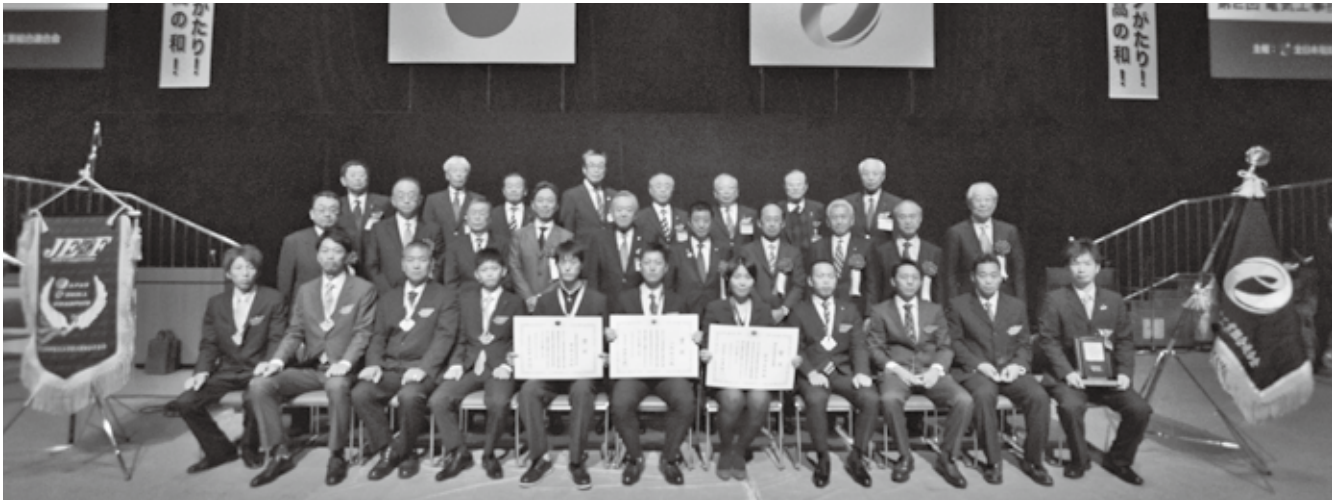


その後、御来賓祝辞、小林功副会長の閉会の言葉で表彰式は終了し、続いて交流会では、終始和やかな雰囲気の中、出場選手や全国の組合員、青年部の皆様との交流を深めることができました。

また、競技大会の共催行事として、創エネ・省エネ・畜エネなどの最新技術に対応した製品の展示が行われ、エネルギーマネジメントシステム・スマートコミュニティ構築など、高度化、多様化する社会ニーズに応える製品の紹介や、新型高所作業車・HEMS 機能を体感できる

トラックが屋外展示されました。また、出展企業各社等の新技術・新商材の提案や、安全・安心な施工等に関する内容など、組合員企業経営に資する内容を紹介する場として「新技術・新商材・経営力提案セミナー」も開催され、多彩な行事で競技大会は大いに盛り上がりました。

各地区の予選を勝ち抜き、また、推薦された40名の選手のご健闘に敬意を表しますとともに、今大会の開催にご尽力された関係者の皆様、大変ありがとうございました。



受賞者と来賓・役員記念撮影



一般の部 金賞 小柳剛之選手  
(株)電興社・佐賀県



女性の部 最優秀賞 前田宏枝選手  
(前田電気株)・福井県



高校生の部 最優秀賞 齋藤平也選手  
(県立千葉工業高等学校・千葉県)

第30回

消防設備保安功労者  
新潟県知事表彰

去る10月28日、第30回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として理事の本山秀樹氏が、地域社会における消防用設備並びに住宅用火災報知機の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第30回  
消防設備保安功労者新潟県知事表彰



大和電建 株式会社  
代表取締役社長  
本山 秀樹 氏  
(上越支部)

第24回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月9日、第24回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工

成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社電通社 望月均氏、並びに株式会社荻荘電機 土田淳氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第24回優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 電通社  
工事部 部長  
望月 均 氏  
(新潟支部)



株式会社 荻荘電機  
第一工事部  
第二課 課長  
土田 淳 氏  
(新潟支部)

HEMS対応住宅分電盤

スマートコスモ®が  
おすすめしやすい  
価格で新登場!!



HEMS対応住宅分電盤  
スマートコスモ AiSEG通信型  
BHN8520J  
希望小売価格111,100円(税抜)



Wonders!  
by Panasonic

「AiSEG」および「スマートコスモ」は、パナソニックグループの登録商標です。

◎お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所  
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3号 (025)260-7711

## 平成29年度 消防関係試験実施計画

## 1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H29. 6. 3 (土)	H29. 4. 16 (日) ～4. 29 (土)	H29. 4. 19 (水) ～5. 2 (火)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 佐渡市
H29. 8. 27 (日)	H29. 7. 9 (日) ～7. 23 (日)	H29. 7. 12 (水) ～7. 26 (水)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
H29. 11. 19 (日)	H29. 10. 1 (日) ～10. 15 (日)	H29. 10. 4 (水) ～10. 18 (水)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H30. 3. 3 (土)	H30. 1. 7 (日) ～1. 21 (日)	H30. 1. 10 (水) ～1. 24 (水)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市

## 2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H29. 6. 24 (土)	H29. 5. 7 (日) ～5. 21 (日)	H29. 5. 10 (水) ～5. 24 (水)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H29. 10. 15 (日)	H29. 8. 27 (日) ～9. 10 (日)	H29. 8. 30 (水) ～9. 13 (水)	甲種特類 甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H30. 3. 18 (日)	H30. 1. 21 (日) ～2. 4 (日)	H30. 1. 24 (水) ～2. 7 (水)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

## (一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。  
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／  
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット



株式会社 **ダイヘン**

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212

東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>



## 柏崎支部

## スポーツイベント「柏崎マラソン」

スポーツの秋 in 柏崎、「第14回柏崎マラソン」(2016年10月30日(日)開催)を紹介させていただきます。



本部前ゲスト紹介看板

柏崎市では年間2回のマラソン大会が行われ、春5月の海岸・山沿いの混合コースの「潮風マラソン」、そして、秋10月の海岸コースの「柏崎マラソン」があります。この2大会は、コース道路を交通規制して大規模な一般参加型のスポーツイベントとなっており、2

大会とも有名ランナーをゲストに迎え大会を盛り上げております。今回の柏崎マラソンはアトランタとシドニーオリンピック2大会メダリストのエリック・ワイナイナさんが、ゲストランナーとして3回目の出場です。

なお、柏崎マラソンは、日本陸連/IFF(国際陸連)認証コース、東京マラソン2017(一般)提携大会、並びに全日本マラソン/全日本ハーフマラソンランキング対象大会として認定されています。

この大会は柏崎市陸上競技場発着で行われ、みなとまち海浜公園から原子力発電所脇道路を通り抜け、石地海水浴場手前で折り返し、海岸を横目に見ながら陸上競技場へ戻ってくるコースとなっております。全国から集まったランナーが、爽やかな秋晴れのなかで、海岸沿いを多く走るコースに潮風を感じ疾走しました。

参加人数は総勢2,064人で、そのうちフルマラソンは644人で、その他にハーフマラソン・10キロ・

3.3キロのそれぞれのコースに分かれ、60歳以上から高校生含む一般と、小中学生対象(3.3キロ)に老若男女が参加いたしました。参加者はスタート時にワイナイナさんとハイタッチして、駆け抜けて行きました。なお、ワイナイナさん自身も3.3キロと、ハーフに出場しました。

参加者の中には当業界関連の方々もおり、電力柏崎営業所社員の方や当支部組合員(会社名は非公開)も春と秋の2大会とも参加し、フルマラソンの部で見事完走です。タイム、順位は?また、大会運営スタッフには、大勢のボランティアで市内企業の方々も協力し、電力柏崎営業所社員の方や組合員事業所従業員の方も、給水所やコース案内等、ボランティアスタッフとして参加しておりました。

この大会では、参加者の中から抽選で2017年東京マラソンの出場権が3名に与えられます。しかし完走タイムに条件が付き、皆さん必死?の様でした。

結果は、フルマラソン男子優勝者は埼玉県の方で2時間28分50秒、女子優勝者は県内上越市の方で3時間5分47秒、ハーフマラソンは市内マラソンチームの方、10キロでは市内工業高校3年生が優勝と、各年齢・コース部門で競い、大盛況な秋晴れの日でした。

健康増進もかねて、無理のない挑戦で、皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか。



競技場でスタート

## 上越支部

## 上越 2 大イベント！

イルミネーションといえば「冬」のイメージがあると思いますが、上越には夏から秋にかけて楽しめる世界最大のイルミネーションがあります。アパリゾート上越妙高で開催される、『Myoko Happiness Illumination ～幸福を呼ぶ光の双龍～』です。約4万平方メートルの広大な敷地には160万球もの電飾が灯され、世界初の「有機EL照明」を使用した3Dウォータープロジェクションマッピングが、昨年引き続きさらにパワーアップして登場しました。

タイトルにもなっている巨大な龍の光は、高低差30mの高台と下台のビューポイントから、昇り龍・下り龍を鑑賞することができます。高台からも下台からも、双方向に美しい光を放つこのイルミネーションは、世界最大の光の地上絵といわれ、2015年にはギネス世界記録に認定されました。

他にも咲き乱れる花々が美しいLEDの花畑「幻想庭園」や、長さ300mを超える「虹龍の光の大トンネル」、期間中に開催される打ち上げ花火など、この時期の妙高高原には、紹介しきれない魅力でいっぱいです。



幸福を呼ぶ光の双龍

上越地域の地酒とグルメの祭典『越後・謙信 SAKE まつり』が、10月下旬、上越市の商店街で行われました。上越の酒文化を伝え、地域の活性化につなげようと2006年にスタートし、今年で11回目を迎えます。上越市・妙高市・糸魚川市・佐渡市の23の蔵元が出店したほか、上越産の野菜や果物、鮮魚や肉を使ったつまみや食事などのブースが60店以上出店し、試飲用のお猪口を手にした多くの人が商店街に集まりました。

イベントブースでは、ものまねライブや「越後上越上杉おもてなし武将隊」のショーに、ご当地アイドルのライブなどが行われ、大いに盛り上がりました。今年は北陸新幹線が開業したこともあり、首都圏からの来場者や外国人観光客の姿もみられ、2日間で121,000人の来場者がありました。

魅力あふれる上越に、ぜひ一度お越しください。



越後謙信 SAKE まつり

## 県青年部

## 平成28年度 移動理事会

県青年部（星野泰助会長）は、11月11日に蓬平温泉和泉屋にて移動理事会、合同委員会を開催し、親会の吉田副理事長、県青年部理事・監事22名、事務局1名の計25名が出席しました。移動理事会では、議長に金子信人氏（佐渡支部）を選出し審議を行い、移動理事会に続いて各委員会が開催されました。



星野県青年部会長

各議案については下記のとおりです。

〔移動理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

〔交流・情報委員会議案〕

- (1) 年部支部間交流親善スポーツ大会（in 魚沼）の反省と次回（in 小千谷・十日町）へ向けて



吉田副理事長

- (2) 平成28年度事業の具体的推進について  
他

〔経営・技術委員会議案〕

- (1) 平成28年度事業の具体的推進について



また移動理事会・合同委員会終了後、県青年部と新潟県中小企業団体中央会共催による「平成28年度青年部経営セミナー」を開催し、長岡支部他各青年部会員を加えた計37名が出席しました。

はじめに星野会長挨拶、渡邊経営・技術委員長による講師紹介ののち、「『積小為大』で未来は変わる！」と題して、北海道より株式会社耕電設 特別顧問 千葉英也様をお迎えしご講演いただきました。終了後は懇親会を開催し、講師にもご臨席いただき、参加者は大いに交流を深めました。



千葉講師



## 第2回 全国青年部会員大会 ～優良活動発表で最優秀賞を受賞!～

11月26日（技能競技全国大会翌日）、東京ファッションタウンビル 西館 2F TFFT ホール 1000 にて第2回全国青年部会員大会が「ブラッシュアップ!! ～つながり ひろがり 輝く青年部へ～」をテーマに開催され、全国より約550名の青年部会員が「作業着」で参加しました。新潟県工組からは18名が参加しました。

全日電工連青年部 植草会長による挨拶のち、第1部青年部優良活動発表が行われました。

事前に全国各ブロックから「ブラッシュアップ部門」「新規事業部門」の2部門へエントリーされた多くの事業の中から、当日は最終選考に残った12事業の発表が行われました。

新潟県工組青年部は新規事業部門に「新潟電工ガールプロジェクト」でエントリーし、最終



選考に残り発表を行いました。この日の為に、受賞を逃した前回のリベンジに燃えるべく当青年部では実行委員会を立ち

上げ、エントリーや発表について検討を重ねてきました。

また、当日の発表では、2名の新潟電工ガールにご協力いただき全国の青年部に向けて強力なアピールができました。結果は、念願の最優秀賞をいただく事ができました。

第2部は青年部恒例の意見交



換会が行われました。

今回の意見交換会は「夢のある青年部づくり、我々のあるべき姿」をメインテーマ、「優良活動発表から得られる可能性について」をサブテーマに、1テーブル6人ずつに分かれ、活発な意見交換が行われました。

その後の懇親会では、全国初となる「作業着ファッションショー」が開催され、その模様はインターネットで全世界へ発信されました。

カッコイイ作業着姿の青年部員が各都道府県から1名ずつ、ブロック単位で登場し、東北ブロック新潟県からは金子達也県青年部交流・情報委員長がランウェイを盛り上げました。この会員大会は全国の青年部の様々な活動を知ることや、意見交換会や懇親会を通して交流を深めることができる貴重な機会となっております。



## 上越支部青年部

## 近況報告

11月18日(金)～19日(土)、上越支部青年部で大阪に研修旅行へ行ってきました。



初日はパナソニックセンターを見学。そこでは最新の家電製品や照明器具、お部屋のショールーム等、家一軒まるごと展示されており、子供からお年寄りまで各世代に向けた、気配りやアイデア満載の商品がありました。それを目の当たりに、今後の家電販売や電気工事の提案の仕方の幅が広がると思い、とても勉強になりました。



そして夜の懇親会では、今後の方針等を話し合いながらとても楽しいひと時を皆んなで過ご

し、より絆を深める事が出来ました。

2日目は、あべのハルカスを見学。大阪を一望出来る展望台を始め、移動手段のエレベーターでも、LEDのイルミネーションを使った演出等は、入口から出口まで飽きさせる事なく、これが『浪速の商人』のやり方かと仕事の流儀を垣間見た感じがしました。



今回の研修旅行の移動は、新幹線とサンダーバード、府内は電車でした。北陸新幹線は設備が充実しており、とても乗り心地が良く、1時間というあっという間の乗車時間がもったいないなと思うほどの新幹線でした。全ての移動が電車でしたが全員が遅れる事も、はぐれる事もなくスムーズに事が運んだ事に、上越支部青年部の団結力を改めて確認する事が出来、これからの地域発展において、青年部一丸となって活動して行きたいと思います。

本当に充実した研修旅行になりました。



## 魚沼支部青年部

## 支部間交流親善スポーツ大会・会員交流会

いつもお世話になっております。魚沼支部青年部でございます。

活動報告といたしましては、わたくし…活動にはほぼ参加できておらず皆様には多大なるご迷惑をおかけしております。

今年度一番の活動はと言うとやはり6月に行われた支部間交流親善スポーツ大会ではないでしょうか。(我々だけの活動ではありませんが)高橋会長のもと部員一同一丸となり設営にあたりました。(ほぼ会長の血と汗でしたが…)

「遠路はるばる魚沼の地に足をはこんでくださるのだからスキー場でスキーとか？」そもそも冬はNGとのこと、「じゃあ釣りとか？」スポーツではないよねー！色々意見交換がされたなか前年度にあやかりソフトドッチボールで決定させていただきました。

大会会場から宿が離れ過ぎではないかとか、私どもの独断で決め多々至らぬ点もあり皆様にはご迷惑をおかけしました。

スポーツ大会にあたっては、審判が的確にホイッスルをふかなかったり、予選リーグと決勝トーナメントのルールを余儀なく変更したり、私の投げたボールが女性の方に直撃し非難囂々



だったり、(十日町支部の樋口さんゴメンナサイ)佐渡支部さんは海を泳いで来るらしく初戦には間に合わないと…金子さんにお叱りをうけたり、新津支部さんのユニホームがカッコよすぎた件などなど色々ありました。

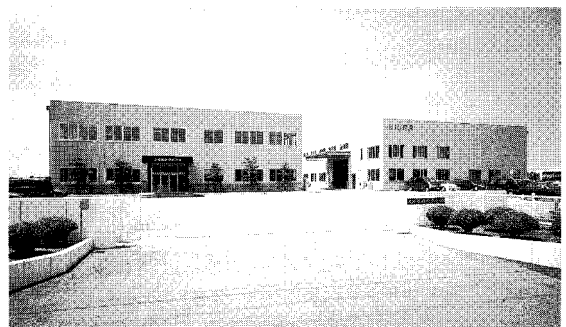
また各支部様の配慮により退出時にはゴミひとつない状態で大変感謝しております。

会員交流会におきましては、各支部の皆様と和気あいあいと親睦を深めることができたことと色々な方々からお褒めのお言葉もいただきありがとうございました。

来年度開催地の小千谷、十日町支部青年部の皆様楽しみにしております。

(私個人的には会場から宿までの村山さんのドライブが一番楽しかったです！)

## 先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



### 三浦電機株式会社

代表取締役 小名 隆一

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025)274-0381  
 FAX (025)274-0385  
 柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257)24-3739  
 東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025)255-4201

## 十日町支部青年部

## 産業フェスタ&amp;三組合青年部交流会

10月15、16日 2016年で第9回目を迎える十日町産業フェスタが越後妻有交流館キナーレ、クロステンで開催されました。産業PRや音楽、ダンスステージ、地元食材の飲食コーナーなど、多くの団体、企業が参加して、十日町の「職・織・食」を家族で楽しめるイベントとなっています。今回「東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に『火焰型土器』を！」というテーマで、十日町で国宝に指定されている火焰型土器の木製の大型模型が展示され、エンディングには点灯式が行われました。今年もこの産業フェスタに東北電力㈱十日町営業所さんと共に組合青年部で参加させて頂き、最新の省エネ機器などの展示PRを行いました。また電力さんが「よりそうeネット」のPR用に、輪投げ、水風船、スーパーボールすくいなどのミニ縁日をしたこともあり、担当ブースは大勢の家族づれで賑わいました。総入込客数は県知事選挙投票日

などと重なり例年より落ちたようですが、天候にも恵まれ、大盛況の二日間でした。

その産業フェスタの3日前、10月12日には建築青年部さんの呼びかけで、建築、設備、電気組合青年部会員が集まり、第一回の三組合合同交流会が行われました。地元以外の業者の住宅施工が年々増えているなか、今後、人口減に伴う新築住宅着工数の減少も予想され、これまで以上に三業者の連携が不可欠ということで企画開催されました。交流会では各青年部の活動報告が行われ、他業種の参加者との情報交換、大いに飲んで相互の親睦を深め、大変有意義な時間でした。

最後に、これからも十日町支部青年部会員みなで力を合わせて、やるときはやる、飲むときは飲む 基本は楽しく をモットーに活動していきたいと思います。



産業フェスタの様子



退職された山田事務職員を囲んで

## 組合員の異動

平成28年11～12月理事会承認分

日付		支部	
H28.11.1	譲渡	燕	(株)高井電気 (代表者：高井一幸) → (株)タクミ電設 (代表者：阿部修司)
H28.12.20	新規	新発田	(株)伊藤電気
H28.12.20	新規	新発田	福西電気商会
H28.12.20	新規	魚沼	いさお電気設備サービス

平成28年11～12月理事会報告分

日付		支部	
H28.9.30	脱退	魚沼	魚沼電設(株)
H28.11.30	脱退	上越	(株)藤縄電機
H29.3.31	脱退	新潟	(有)篠原電気
H29.3.31	脱退	新潟	鈴木電気(株)
H29.3.31	脱退	村上	(有)板垣設備
H29.3.31	脱退	三条	スサ電気
H29.3.31	脱退	柏崎	土一電気
H29.3.31	脱退	魚沼	山田電気店

## 組合員の変更

平成28年10月～12月組合受付分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	大滝電気	住所	〒950-0941 新潟市中央区女池6-4-30	〒950-0922 新潟市中央区山ニツ3-19-20
		F A X	025-281-1217	025-250-0108
	砂原電気	商号	(有)砂原電気	砂原電気
	水野電気工事	F A X	025-372-2863	025-378-0460
	松田電気(株)	商号	(株)松田電気商会	松田電気(株)
		住所	〒950-0076 新潟市中央区沼垂西2-3-9	〒950-0871 新潟市東区山木戸3-13-13
		T E L	025-244-7378	025-256-8541
		F A X	025-244-7666	025-256-8544
新津	(有)ヒグチエレクトリック	代表者	樋口 等	樋口 智和
燕	陽光電気(株)	代表者	矢島 忠男	大久保 剛
	(有)高野電機	F A X	0256-62-4245	0256-64-7235
長岡	(有)大新電業	代表者	五十嵐 達夫	五十嵐 淳一
上越	(有)大塩電気工事店	代表者	武田 哲昭	大塩 敏久
	山愛電気	T E L	090-2652-5393	025-526-2227
十日町	(株)村尾電気	住所	十日町市本町6丁目	十日町市本町六の一丁目251-1
		F A X	025-757-1527	025-757-1526
佐渡	(株)本間電気工事	商号	本間電気工事	(株)本間電気工事
		住所	佐渡市石花828-10	佐渡市石花828-8

# 組合の保険って??

## Donna★Konna



**全日電工連**  
**「第三者損害賠償制度」・「業務災害補償制度」・**  
**「組立保険制度」**

**全日電工連**  
**「グループ共済制度」**

～平成 29 年 4 月 1 日 更新～

～平成 29 年 3 月 1 日 更新～

◇平成29年度からパンフレットが1冊になります。  
 一部改定等がありますのでご確認の上、お手続きを  
 お願いいたします。

◇現在ご契約の皆様は、  
 「平成 29 年度版 (概算掛金) パンフレット」  
 にて更新のご確認をお願いいたします。



\*\*\*\*\*

### ◆組合取り扱い 「保険一覧表」 ◆

◇組合で取り扱っている各種保険を一覧にいたしましたので、是非、ご活用下さい！



## 新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気工事技術講習センター』にご登録していただいている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-1587



### 平成29年度 第一種電気工事士定期講習会開催（予定）

開催日	会場	
平成29年 4月12日（水）	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
12月13日（水）	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
平成30年 2月2日（金）	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所 2-2-2 TEL 025-281-5511

皆  
様  
へ  
組  
合  
員  
の

なるべく新潟県電気工事工業組合受付の講習会を受講  
していただけるようご協力お願いいたします。



編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創

---

あわてるな  
あせるな  
騒ぐな  
パニくるな  
深呼吸して  
状況確認



《安全標語》 新津支部 (有)いとう電工社 伊藤フサ子

新潟県電気工事工業組合